

指定管理者総合評価シート

(評価対象期間 平成28年4月1日～ 令和2年3月31日)

1 基本情報

施設名称	千葉市土気あすみが丘プラザ
条例上の設置目的	千葉市土気あすみが丘プラザ設置管理条例 (設置) 第1条 本市は、地域住民のための学習、文化等に関する各種の事業を行うとともにコミュニティ活動の場を提供する施設として、次のとおり千葉市土気あすみが丘プラザを設置する。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	地域住民のための学習、文化等に関する各種事業を行うとともにコミュニティ活動を促進し、市民の連帯感を醸成することで、市民主体の住みよいまちづくりを推進すること。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性を踏まえ、コミュニティ活動の契機となる事業を企画・実施するとともに、地域の生活文化向上のため、定期講座の開設及び講演会、展示会等を開催すること。 ・コミュニティ活動の場を低廉な料金で安定的に供給すること。 ・コミュニティ活動を行う上で必要とされる情報発信の場となること。
制度導入により見込まれる効果	本施設では、指定管理者制度導入により、市民サービスの向上を図り、さらに多くの市民に利用していただくという効果を見込んでいる。 したがって、市としては、指定管理者が民間事業者としてのノウハウを活用した質の高いサービスを提供するとともに、魅力的な事業の企画や効果的な広報活動を実施することなどにより、施設の利用が促進されることを期待している。
指定管理者名	ANAスカイビルサービス株式会社
構成団体 (共同事業者の場合)	
指定期間	平成28年4月1日～ 令和3年3月31日 (5年)
所管課	緑区役所地域振興課

2 成果指標等の推移

(1) 施設稼働率 (諸室) (成果指標1)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平均
実績値	43.5%	48.3%	39.9%	34.5%	41.6%
数値目標※	45.0%(44.6%)	45.0%(44.6%)	45.0%(44.6%)	45.0%(44.6%)	45.0%(44.6%)
達成率	97.5%	108.3%	89.4%	77.4%	93.2%

(2) 施設利用者数 (スポーツ施設) (成果指標2)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平均
実績値	27,535人	26,738人	3530人	20,750人	19,638人
数値目標※	24,759人 (24,500人)	24,759人 (24,500人)	24,759人 (24,500人)	24,759人 (24,500人)	24,759人 (24,500人)
達成率	112.4%	109.1%	14.4%	84.7%	80.2%

(3) 成果指標以外の利用状況を示す指標

指 標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平均
プラザまつり参加人数	6,500人	7,000人	—	7,500人	7,000人

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

3 収支状況の推移

(単位：千円)

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計	
必須業務	収入	指定管理料	実績	53,446	53,033	32,463	53,660	192,602
			計画	53,446	53,033	32,463	53,430	192,372
		利用料金	実績	8,197	8,463	1,301	6,751	24,712
			計画	8,096	8,196	1,389	7,674	25,355
	その他	実績	180	163	40	415	798	
		計画	200	200	30	147	577	
	合計	実績	61,823	61,659	33,804	60,826	218,112	
		計画	61,742	61,429	33,882	61,251	218,304	
	支出	実績	61,122	60,409	33,226	65,510	220,267	
		計画	61,742	61,629	33,882	61,251	218,504	
収支		実績	701	1,250	578	△ 4,684	△ 2,155	
自主事業	収入	実績	187	272	25	186	670	
		計画	261	280	36	252	829	
	支出	実績	289	437	27	290	1,043	
		計画	264	361	36	396	1,057	
	収支		実績	△ 102	△ 165	△ 2	△ 104	△ 373
	総収入		実績	62,010	61,931	33,829	61,012	218,782
総支出		実績	61,411	60,846	33,253	65,800	221,310	
総収支		実績	599	1,085	576	△ 4,788	△ 2,528	
利益の還元額		実績	—	—	—	—	—	
利益還元の内容			—	—	—	—	—	

4 管理運営状況の総合評価

評価項目	評価	評価の具体的内容・理由
1 成果指標の目標達成	C	・概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。 ・施設稼働率(諸室)、施設利用者数(スポーツ施設)について、平成28年度から平成29年度については、市が設定している最終年度の数値目標を上回る達成率であったことは評価できる。しかし、大規模改修工事による長期閉館や、自然災害、新型コロナウイルス感染症拡大等による利用者の減少に伴い、平成30年度・令和元年度については、市が設定している最終年度の数値目標を達成することはできなかった。
2 市の施設管理経費縮減への寄与	C	・概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
3 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	・概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。 ・災害時、避難所開設をした際、受入体制を速やかに整え、避難所の受入・対応を行ったことは、高く評価できる。
4 施設管理能力		
(1) 人的組織体制の充実	C	・概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
(2) 施設の維持管理業務	C	・概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。 ・駐車場について、混雑時には施設職員が車の誘導を行い、満車時には満車の看板を表示するなどして、混雑緩和や事故防止に努めた。また、駐車場に監視カメラを設置し、不正駐車防止や犯罪の未然防止に寄与したことは評価できる。
5 施設の効用の発揮		
(1) 幅広い施設利用の確保	C	・概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。 ・ロビーでの新聞の提供に加え、自習机やパソコン、歓談用のテーブル、フリーWi-Fiを設置し、利用者サービスの向上に努めたことは評価できる。 ・会議室に全身鏡を設置し多目的室と同様の機能を持たせる工夫や、音楽室及び集会室の環境整備を行い、施設利用の促進に努めたことは評価できる。
(2) 利用者サービスの充実	C	・概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
(3) 施設における事業の実施	B	・事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を上回る、優れた管理運営が行われていた。 ・自主事業について、あらゆる世代や性別の方が参加できる魅力ある自主事業の実施に努めた。 ・市からの受託事業や自主事業とは別に、各サークル団体との協力事業を積極的に行い、施設利用の促進に努めたことは高く評価できる。
6 その他 (市内業者の育成、市内雇用の配慮、障害者雇用の確保、施設職員の雇用の安定化への配慮)	C	・概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。

総合評価	B
------	---

【評価の内容】

A：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を上回る、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
 D：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に満たない管理運営が行われていた。
 E：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に、大きく満たない管理運営が行われていた。

5 総合評価を踏まえた検討

(1) 指定管理者制度導入効果の検証

	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
○	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

(上記判断の理由や具体的内容・達成できなかった場合の原因)

大規模改修工事や新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受け、施設稼働率(諸室)・施設利用者数(スポーツ施設)ともに、市が設定している最終年度の数値目標は達成できなかった。しかし、影響を受けなかった年度については、市が設定している最終年度の数値目標を達成し、多くの市民に利用していただいた。諸室の機能向上や環境整備、施設内の設備の増強等を実施したことにより、利用者サービスが向上した。また、地元の学校と協力した音楽イベントの開催や、サークル団体との協力事業を積極的に行い、地域に密着した魅力ある自主事業の実施に努めたことにより、施設利用が促進された。

(2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

コミュニティセンターの管理運営においては、自主事業の収支が赤字であることから、民間企業としてのノウハウを活用した魅力的な事業の企画や効果的な広報活動を図り、収支の黒字化に努める必要がある。

(3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	施設管理手法の見直しを検討する。
	既に施設管理手法の見直しを決定している。

(4) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見

ア 市の作成した総合評価案の妥当性について
市の作成した総合評価案の内容は、妥当であると判断される。

イ 指定管理者制度の導入効果や課題等を踏まえた制度継続の検討、その他改善点等について
(ア) 大規模改修工事や自然災害、新型コロナウイルス等の影響から施設稼働率及び利用者数の推移は増加しなかったものの、設備の増強や魅力ある自主事業の実施などを踏まえ、指定管理者制度導入による市民サービスの向上や、施設の利用促進などの効果が認められることから、指定管理者制度の継続が望ましいと判断される。
(イ) コミュニティ活動のための施設としてだけでなく、災害時における避難所として、指定管理者による積極的な協力が期待される。
(ウ) 公共交通機関でのアクセスが悪く、駐車場が少ないことを踏まえ、利用者増加に向けた工夫を検討されたい。